

祝 東広島アザレア賞 おめでとうございます

表彰対象
日本管楽合奏コンテスト
最優秀賞
中央中学校 吹奏楽部



東広島市立中央中学校・吹奏楽部が、平成29年11月4日東京都文京区シビックホールで行われた第23回日本管楽合奏コンテスト全国大会・中学校A部門において最優秀賞を受賞。35名の吹奏楽部員が三宅裕子先生指揮のもと、「吹奏楽のための天使ミカエルの嘆き」をみごと演奏し、36校の中からの受賞となりました。

この功績を受け、本年2月9日、東広島市よりアザレア賞を受賞。同吹奏楽部は、入学式や卒業式など学校行事のほか、地域行事でも演奏活動を行い、練習を重ねてきました。

【東広島アザレア賞とは？】

「東広島アザレア賞」は、東広島市の教育、文化、スポーツの分野で、模範として推奨できる成果や業績を収めた個人や団体に、市から贈られる賞です。今年度は、全国・国際規模の大会で功績のあった9団体39名が受賞しました。



2月9日、アザレア賞授賞式にて
三ツ城小学校からは
4名と1団体が受賞

<個人受賞>

- ▶第42回ゆうちょアイデア貯金箱コンクール
文部科学大臣賞 1年生 澤田 航太郎
- ▶第18回国際音楽コンクール
ユース部門インファントB自由曲コース
第4位 2年生 高橋 羽奈
- ▶ユース部門インファントA自由曲コース
第5位 4年生 鎌倉 有希菜
- ▶第58回動物愛護の作文コンテスト
「ヌシになるための手助け」環境大臣賞
5年生 長門 美佑

<団体受賞>

- ▶第15回スナッグゴルフ対抗戦 JGTOカップ全国大会優勝
6年生 森 悠真・秋竹 克紀・神田 庵史・鷲見 悠成
- 5年生 見寛 大飛

がんばれ！
三ツ城っ子



三ツ城自治協議会

平成30年3月吉日発行

第24号

西条中央支部だより

三ツ城自治協議会西条中央支部主催によるとんどまつりを、三ツ城小学校や地域の方々の協力のもと、三ツ城小学校グラウンドにて開催しました。

とんどまつり
1/28日(日) 三ツ城小グラウンド



雪景色一願いととともに昇る とんどの火

当日は朝から小雪が舞う厳しい寒さでしたが、その寒さを吹き飛ばすように300名以上の子どもたちや地域の方々が集まりました。高く組まれた2つのやぐらに三ツ城小学校5年の安川真ノ介君と篠原綾乃さんが点火し、降ってくる雪を振り払うように勢いよく燃え上がりました。集まった子どもたちも燃え上がる炎や竹の弾ける音に歓声を上げていました。竹竿の先に挟んで焼いたお餅は、地域の皆さんの手により用意されたぜんざいに入れられ、みな美味しそうにほおぼっていました。



ご卒業 おめでとう

東広島市立中央中学校 196名 (3/10日卒業式)
東広島市立三ツ城小学校 145名 (3/17日卒業式)

卒業生の皆さん、おめでとうございます。
4月から新しいステージでがんばってください！

お知らせ掲示板

4~5月の主な地域行事

5月14日(月) おでかけサロン(福祉部会)
~佛通寺・三景園ほか

4月30日(月) 10:00~
三ツ城自治協議会 西条中央支部総会

「三ツ城メール」は 用紙での登録申請もできます

三ツ城メールは、三ツ城自治協議会が運営する情報発信ツール(地域メール)です。三ツ城地区の皆様へメールアドレスをご登録いただき、回覧では届け切れない三ツ城地区のリアルタイムな情報や、回覧が回らない方への有効な情報発信ツールとして、運用しています。

メール登録は、用紙でも申請できます。

三ツ城メール 登録申込書 (FAX 送信票)

三ツ城メールとは、三ツ城自治協議会が運営する情報発信ツール(地域メール)です。三ツ城地区の皆様へメールアドレスをご登録いただき、回覧では届け切れない三ツ城地区のリアルタイムな情報や、回覧が回らない方への有効な情報発信ツールとして、運用しています。

登録にあたっては、ご自身の携帯等からメールアドレスを登録いただくか、この申込書に必要事項を記入の上、事務局までFAXなどでご届出ください。

◆ご自身で登録する場合◆ 携帯の登録方法をご覧ください。 ◆どちらかで登録してください

◆申込書により登録する場合◆ 申込書に必要事項を記入の上、事務局までFAXなどで届出してください。

これまで通りQRコードからの空メールでも登録できます

発行・連絡先

西条中央支部だよりは、三ツ城自治協議会(本部)及び西条中央支部の活動を中心に、まちづくりの情報随時お知らせしてまいります。みなさまのご意見・ご提案等をお寄せください。

三ツ城自治協議会 西条中央支部 事務局 / 情報部会
 部長：福村 真喜子 TEL:090-1330-1981
 副部長：藤原 義正 TEL:090-4802-6640
 メール：saijyochuoshibu@gmail.com

ホームページよりバックナンバーをご覧ください▶

ご存知ですか？ 社会福祉協議会

社協って？

社会福祉協議会は、社会福祉に関わることを専門に行う民間の非営利福祉団体です。名称を略して“社協”ともいわれます。

活動の目的は？ 社協は、地域で暮らす高齢者や障がい者をはじめ、すべての市民が一人の人間として尊重され、お互いに理解しあい、連携し、ともに支えあいながら、住み慣れた地域で健康で安心して暮らすことができるまちづくりをめざして活動しています。地域に無くてはならない、たいせつな組織です。

財源は？ 社協の主な財源は、社協に寄せられる皆様からの会費

- ・赤い羽根共同募金
- ・香典返し
- ・介護保険

などから集められ、社会福祉活動資金として役立てられています。

おしらせ

三ツ城自治協議会西条中央支部では、社協への協力のため、平成30年度より一般年会員(500円)を募ります。強制ではありませんので、主旨にご賛同いただける方はお願いいたします。詳細は新年度にお知らせいたします。

身につけよう！健康体操教室



3月9日に東広島商工会議所会館にて、「第14回三ツ城ふれあい・いきいきサロン」を開催しました。

この日は朝から風が強く寒い日でしたが、スタッフを含め43名の参加がありました。

今回は昨年11月に行って大好評だった健康体操を実施しました。無理のない動きで気持ち良く体を動かし終始皆さんの表情はいきいきとしていました。最後に生演奏に合わせて春の歌を歌い、楽しい時間はあっという間に過ぎていきました。



展示コーナーに並んだ作品を見ながら、団らんのひととき。

体操のあとは生演奏に合わせて歌を合唱し、楽しい時間を過ごしました。

2/17(土) サタデー三ツ城ふれあいDAY (もちつき) 三ツ城小学校

地域交流でにぎわった恒例もちつき大会



今年も盛大に行われたもちつきの様子

2月17日(土)三ツ城小学校にて、小学校PTAとの共催で、「サタデー三ツ城ふれあいDAY(もちつき)」が開催されました。广大生やボランティアの方など大勢の方々の協力もいただき、盛大な行事となりました。

最近では、もちつきの機会が少なくなっており、子どもたちには、もちつきの楽しさや、できたてのおもちの美味しさを味わえた素晴らしい思い出の行事となりました。



まちの防犯といえばこの方！ 水本さんに聞く

水本 洋一 (みずもと よういち)

東広島市暴力監視追放協議会会長
東広島市防犯連合会副会長
薬物乱用防止東広島協議会副会長

40年にわたり地域の防犯活動の主軸となって携わり、平成29年11月、警察庁、全国暴力追放運動推進センターより、全国暴力追放功労栄誉賞受賞。



住民と市・警察連携で、安心安全なまちづくりを

日々できることを地道に続けることが大切。子どもたちのあいさつで元気が出ますね！



授賞式にて



「青パト隊長」としても知られる水本洋一会長が、このほど、全国暴力追放功労栄誉賞を受賞。長きにわたる日々の地道な活動で、我々をこわい！危ない！から守ってくださっている防犯のエキスパート水本会長に、その思いをうかがってきました。

暴追協議会では、青少年育成事業としてサッカー大会も開催しています。「子どもたちのがんばる気持ち」を応援したいんです。青少年の健全育成も我々の大切な使命」ということで、毎年9月のC.P.P杯には500名以上の小学生が参加し、こちらも毎年盛り上がりを見せています。

「市役所にも危機管理課が開設され、地域住民、行政、警察との連携での取り組みが、ようやく動き出したのもこの時期です」と、水本会長。「事件や事故のスピード解決のためには、地域一丸となつての取り組みが必須」と訴え、市や警察との連携づくりに尽力されました。



恒例の暴力追放パレード。今年は悪天候で中止となりましたが、昨年は最多の1800人が参加

暴追協議会では、青少年育成事業としてサッカー大会も開催しています。「子どもたちのがんばる気持ち」を応援したいんです。青少年の健全育成も我々の大切な使命」ということで、毎年9月のC.P.P杯には500名以上の小学生が参加し、こちらも毎年盛り上がりを見せています。

みんなで受賞

毎年2月に街頭パレード
9月にサッカー大会

連携

住民・市・警察
地域ぐるみで対策

継続は力

常に現場に出て
リアルな情報収集を

暴追協議会は、もともと各所交番の士気を高める目的で発足されました。その後40年の月日が流れ、刑法犯の検挙数は、2002年のピーク時と比較すると昨年は半数以下に軽減。10年前に暴力団取締法が施行されたこともあって、一定の成果が出ました。しかし、不審者や交通事故など、暴力以外の問題も多発するようになり、新たな課題への対処が必要になりました。

そして、2005年広島市安芸区で起きた小1女児児童殺害事件を機に、新たに結成されたのが、東広島市防犯連合会でした。青パト隊によるパトロールもこれととも「スタイト」し、地域あげての子どもたちの見守り活動が開始されたのです。

「市役所にも危機管理課が開設され、地域住民、行政、警察との連携での取り組みが、ようやく動き出したのもこの時期です」と、水本会長。「事件や事故のスピード解決のためには、地域一丸となつての取り組みが必須」と訴え、市や警察との連携づくりに尽力されました。

「朝のパトロールのときに、子どもたちの方から手を振ってあいさつしてくれるんです。それがいちばんの励みになりますね」と、にっこり。防犯活動継続の秘訣は、どうやら子どもたちの元気な笑顔にあるようです。

「安心安全なまちづくりのために、地道に日常的な活動を続けることが大事」とも強調する水本会長。継続のためには、なるべく第一線の現場に出て、住民の生の声をヒアリングすることも欠かせないそうです。「朝のパトロールのときに、子どもたちの方から手を振ってあいさつしてくれるんです。それがいちばんの励みになりますね」と、にっこり。防犯活動継続の秘訣は、どうやら子どもたちの元気な笑顔にあるようです。

防犯組合のトップ・・・ともなると、とても強くてこわい人？というイメージを描いてしまうかもしれませんが、実際にお会いすると、とてもきさくでフレンドリーな水本会長。お話しも楽しく弾み、あっという間に時間が過ぎていきました。防犯活動は連携第一。他人任せにするのではなく、自分たちに何が出来るかを考え、地域みんなで継続して取り組んでいきたいと思っています。

